令和3年度第2回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録

1 日 時 令和4年3月16日（水）15時00分～17時00分

2 場 所 千葉サイクル会館 会議室

3 出席者 鈴木委員長、小林委員、高岡委員、藤本委員、山本委員
千葉市事務局、株式会社JPF

4 議 題

- (1) 令和3年度包括委託の進捗状況モニタリングについて
- (2) 令和4年度包括委託契約について（非公開）

5 議事の概要

- (1) 令和3年度包括委託の進捗状況について、株式会社JPFから報告され、それに対し概ね良好な業務遂行である旨の評価が千葉市から示され、それに対し質疑応答を行った。

6 会議経過

■事務局職員

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。資料につきましては、事前に確認させていただいておりますので、ここでの確認は省略させていただきます。もし、不足がありましたら、お知らせください。続きまして、会議の成立についてご報告いたします。本日の出席委員は、委員総数5名中、5名の委員の出席をいただいておりますので、会議として成立しています。次に、会議の公開についてですが、事前にご承認をいただいておりますが、議題（2）令和4年度包括委託契約について、法人等に関する情報および審議・検討・協議情報等が含まれるため、千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第2条第1項の規定に基づき、会議の一部を非公開としておりますことを報告させていただきます。傍聴人におかれましては、議題（1）終了とともにご退席いただくこととなりますので、予めご承知おきください。なお、本日は午後5時までの予定となっております。委員の皆様におかれましては、忌憚のないご審議をお願いいたします。会議に入る前に、経済部長の大町よりひとことご挨拶申し上げます。

■経済農政局経済部 大町部長

千葉市経済部長の大町と申します。本日は委員の皆様におかれましては、年度末のお忙しところご出席いただきありがとうございます。本日の議題は2件ですのでよろしく願いいたします。

民間活力を導入した形で、千葉競輪場リニューアル事業を進めてまいりましたが、令和3年10月に国際ルールに準拠した、新しい競輪を始めたところでございます。

「250競走」というのは、業界の課題でもある新規ファンの獲得を実現するために、誰もが楽しめるよう、スポーツ性やエンターテインメント性を前面に打ち出した開催となっております。演出やプロモーション等については、民間事業者の技術やノウハウを最大限活用する形で事業を展開しております。

「250競走」は、新たな競輪となりますので、試行錯誤を繰り返しながら、運営方法を見直していきたいと考えております。この後、包括委託先の株式会社JPFから、ご説明させていただき包括委託実施計画につきましても、今後開催を重ねる中で、内容の修正・拡充を図ってまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

本日は、「250競走」開催後、初めての、包括委託審査委員会となります。

委員の皆様におかれましては、専門的な見地から、ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

■事務局職員

それでは、次第に従いまして審議に入らせていただきます。ここからは鈴木委員長に議事の進行をお願いいたします

■鈴木委員長

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今、コロナの状況が少し落ち着いてきたかなというところではございますけれども、選手についても毎日数名あるいは十名近くの選手がコロナにかかっているという状況でございます。

その中で競輪については、十数か所が開催中止になっていることもありますけれども、250競走については、人数も少なめということもあり、中止になっていることはございません。一度競輪の開催が中止となってしまうと、大きな赤字になってしまうという面もあるため、これからも気を付けていただいて、無事に250競走の開催を続けていただければと思っています。

本日は、第2回目の審査委員会ということでございます。

時間も限られている中ではありますので、委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力をお願いしたいと思います。

それでは、まず本日の議事の流れについて事務局より説明をお願いします。

■公営事業事務所 内山担当課長

公営事業事務所の内山でございます。本日の議事の流れについてご説明します。本日の議事は2点でございます。1点目は、令和3年度包括委託の進捗状況モニタリングについて、2点目は、令和4年度包括業務委託契約について、ご審議いただきます。令和3年度包括委託の進捗状況モニタリングについては、包括業務委託契約締結相手である株式会社JPFよりご説明いたします。令和4年度包括業務委託契約については、まず、千葉市より契約内容をご説明した後に、株式会社JPFより包括委託実施計画についてご説明いたします。ど

ちらも、ご説明後、ご審議いただいた上で、委員会としての意見をまとめていただき、千葉市に意見書としてご提出いただくこととなります。それぞれの議題の詳細につきましては、後ほどご説明をさせていただきます。説明は以上となります。

■鈴木委員長

それでは、議題（１）令和３年度包括委託の進捗状況モニタリングについて、包括委託業者である株式会社JPFから現状についてのご説明をお願いいたします。

■株式会社JPF 鈴木常務

株式会社JPFで本件事業責任者をしております鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

まず資料１の１ページ目をめくっていただければと思います。

３ページ目に運営体制というものがございます。前段で受託業者として株式会社JPFというものがございます。一部運営を再委託しております株式会社PIST6という名前が出てまいりますので、その説明について、冒頭にご説明させていただければと思います。

基本的には運営主体株式会社JPFで行っておりまして、株式会社PIST6というのは、我々JPFと株式会社ミクシィとの共同出資会社（ジョイントベンチャー）でございます。PIST6ではお客様の体験、演出であったり映像、お客様に触れるような部分というところを一部再委託として受け持っております。組織上のご説明としてJPF及びPIST6の２種類出てくるということをご承知おきください。

ではご説明に入らせていただきます。詳細につきましては、千葉の事業所長であります邊田よりご説明いたします。

■株式会社JPF 邊田所長

株式会社JPF千葉事業所の邊田と申します。よろしくお願いいたします。

只今、鈴木からもご説明がありましたが、お手元の資料のご説明をさせていただきます。

まず包括場の運営についてですが、３ページ目、こちらは先ほど鈴木から説明があったとおりでございますが、令和４年２月現在の組織図となっております。前回、令和３年度の開催事業実施計画書に対する報告に則ってご説明させていただいておりました。そのときからJPFの人員が４名ほど増員になっておりますので、そちらを加えさせていただきます。

続きまして、包括場の雇用維持についてです。雇用維持につきまして、令和３年度の開催事業実施計画書でもご報告しておりますが、従前の千葉競輪場で投票所又は総合案内所等、お客様サービス員として従事していたスタッフに、今度は選手サービス員として千葉サイクル会館の館内環境整備を内製化し従事していただいております。

業務内容としては、清掃全般、備品管理、選手の入館管理、施設設備の管理等となり、外側の窓ガラス、厨房のグリストラップ清掃等専門的な技術が必要な分野に関しては外注としておりますが、それ以外の業務を内製化し、スタッフが従事しております。業務につきましては現状では問題なく行っていることをご報告させていただきます。

業務内容につきましては、表が小さいのですが、下の表のとおりです。開催日を中心にスケジュールをたて、表にまとめ、そのとおりに業務を進めております。

定期点検といたしまして、3か月に1度、床の清掃等全体的な清掃を行っております。

2番目、65歳以上のやる気のある方の雇用についてです。定年を迎えたやる気のあるスタッフを継続雇用するという事で、現時点で申し上げますと、エリア社員で1名定年者がおりますが、本人の希望かつ健康上問題ないと認められるため、エリア社員から契約社員（アルバイト雇用）として継続して雇用させていただくことといたしました。

3番目、障害者雇用につきまして、現在総務業務（電話対応、書類整理等）で1名障害者を雇用しておりますが、令和3年12月より、障害者アスリート（パラトライアスロン競技者）を1名雇用することとなりました。障害者アスリートを応援すべく千葉事業所として仕事とスポーツの両立、社会人障害者アスリートとして障害者も働きながらスポーツで活躍できる、または生活ができる職場環境を整え、支えていきたいと考えております。

当該アスリートにつきまして、以下の略歴ではございますが、経歴を掲載させていただきました。お名前は鹿沼由理恵さんといいます。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、2016年のリオパラオリンピックでタンDEM自転車によるパイロット（千葉支部 田中まい選手）を付けたロードタイムトライアルで銀メダルを獲得したという経歴の持ち主です。その後左手を失い競技を中止している時期がありましたが、現在、パラトライアスロンに転向し、今後頑張っていくとの意気込みをもっておりますので、応援の程よろしく願いいたします。

次にスタッフ体制について、先ほど申し上げましたとおり、現時点で4名雇用者が増えておりますことをご報告いたします。

次に250競走実施事業について開催実施計画書に対する報告となります。

まずは入場チケットの購入についてです。チケットはPIST6というポータルサイトのみで発売させていただいております。ペーパーレスとなりますので、パソコンもしくはスマートフォンからログイン、登録して購入していただくこととなります。現時点でチケット購入システムに関して大きなトラブルはなくスムーズな運用ができております。小さな不具合については、リアルタイムでのシステムエンジニアによる対応を行っております。

続きまして、座席の種類についてです。こちらは、一般席、プレミアムシート、BOXシート、VIPルームとお客様が入るスペースの確保をしております。現時点では一般席、プレミアムシートの販売を行っており、BOXシート、VIPルームにつきましては、一般の販売を見合わせておりますことをご報告させていただきます。

続きまして入場方法についてです。先ほどご説明させていただいたPIST6ポータル

サイトで登録を済ませ、チケットの購入をされた方に、入場チケット用のQRコードを取得できるURLが送付されます。そのURLからチケットQRコードを読み込んでいただき、受付の情報取得機器にかざして入場していただくシステムとなっております。その際に、顔写真情報を取得させていただいており、入場管理システムは異常なく稼働しております。チケットの読み込み不具合等については、リアルタイムでシステムエンジニアによる確認、対応を実施させていただいております。

顔写真情報の取得について、お客様は抵抗なく受けていただいております、館内の治安維持に役立っております。

続きまして館内設備（フードショップ）についてです。フードショップにつきましては、サブエントランスにピザ、フライドチキン、フィッシュアンドチップスを販売しているORANGE&PIZZA、3階一般席のエリアにクラフトビール、ホットドック等を販売しているTIPSTAR BAR、メインエントランスにはDrink Shop、一般席をご購入されたお客様については自由に出入りできるバンクの内側であるアリーナ内については、Food Truckを設置し、お客様に満足していただける設備となっております。現時点で4か所のフードショップは異常なく稼働しております。商品につきましては、お客様に大変ご好評いただいております。顔よりも大きなピザ、250cmのソーセージを挟んだ250にかけた250ドック、味もさることながらインスタ映えもするという一方で、お客様個人のSNSに載せていただくなど、宣伝広報にも一役買っている商品となります。

続きまして、オリジナルのグッズショップです。PIST6のオリジナルのグッズショップを展開させていただいております。PIST6のオリジナルのTシャツ文具はお客様に可愛いと大変ご好評いただいております。こちらは選手からも好評で、購入する選手も増えてきております。

開催中に関しては、後ほどご説明させていただいておりますが、ファンシューティングというプレゼント企画を行っており、その際にお客様にプレゼントする商品に選手サインを加えてお渡しするなど、来場者特典としても活用させていただいております。

先ほどご説明いたしましたフードショップ及びグッズショップの商品ラインナップにつきましては、後ほど資料をご確認ください。

館内施設キャッシュレスサービスについてです。現在、TIPSTARDOMEではキャッシュレス、ペーパーレスとして事業を行っております。その一環として、POSレジ、高性能なクラウド型のレジを全店舗に導入し、完全キャッシュレスを実現し、運営しております。こちらに関しましては、先ほどご説明いたしました飲食店、グッズショップに加えて、選手が部品等を購入する購入部につきましてもこのシステムを導入し、キャッシュレスを進めております。現時点でキャッシュレスシステムにトラブルはなく、異常なく稼働しております。

続きまして、昼、夜2部制についてです。デイレース、ナイトレースという1日2部制、選手も2走する、という形でP I S T 6開催を運営しております。先に実施計画にて述べさせていただいておりますが、現時点ではエキシビションの開催は行えておりませんが、現在検討中でございます。

お客様にさらに満足していただけるエンターテイメントをプラスしてリピーターの確保に繋げていきたい、そのための検討を続けていきたいと考えておりますので、その旨ご報告させていただきます。

続きまして演出についてです。御覧になっていただいた方もいらっしゃるかと思いますが、P I S T 6開催に関しては、レースが主体ではありますが、それに加えてお客様満足度を向上させるためにいろいろな演出をさせていただいております。オープニングショー、レーザーショー、派手な選手入場、レース映像を含め、いろいろやらさせていただいております。現時点で計画どおり演出を実施させていただいております。オープニングショー「バース」、選手登場の演出、レーザーショーと、既存の競輪では行えていない演出にお客様から大変ご好評いただいております。

続きまして開催スケジュール案となります。開催実施計画のほうで説明させていただいたとおりのスケジュールで順調に進めさせていただいております。細かな調整、修正はございますが、大きな変更はございません。このスケジュールに則って進めさせていただいておりますことをご報告させていただきます。

続きまして、投票についてです。投票に関しましては、**TIPSTAR** というポータルサイトで発売をしております。このシステムに関しましても、現時点で不具合はございません。問題なく稼働していることをご報告させていただきます。

続きましては、マーケティングスケジュールです。こちらスケジュールと多少前後することはありますが、マーケティングスケジュールどおり、実施内容につきまして実行させていただいておりますことをご報告させていただきます。

資料15ページにおけるマーケティングスケジュールにつきましても、多少前後はしておりますが、スケジュールどおり内容の実施をさせていただいております。

図の青い部分、**TIPSTAR** のロゴが記載されているグラフにつきましては、実施時期未確定として当初の実施計画でご説明させていただいておりますが、こちらは、1月、2月のいろいろなキャンペーンを実施させていただいております。P I S T 6に特化した、限定した内容にはなりますが、下の図に記載させていただいておりますので、後ほどご確認くださいませようお願いいたします。

P I S T 6 広告掲載計画です。前回、千葉駅東口ビジョンに掲載させていただいていることを確認させていただきましたが、資料に掲載しているイオンシネマ、ユナイテッドシネマ、イオンフードコート、J R 等々宣伝広告を順次進めさせていただいております。3 月末まで続くものもございますので、そこも抜けなく広告していこうと思っておりますので、その旨ご報告させていただきます。

続きまして、開催するにあたって実施計画で詳細をご説明しなければいけない部分がありましたので、載せさせていただいております。

こちらは10月2日のP I S T 6 開幕のものとなります。開幕の際に、メインエントランスで記者会見を実施させていただきました。10月2日土曜日開幕戦、第1回第1節千葉市営競輪を迎えるにあたり、メインエントランスで開幕記者会見を、千葉市長様もご参加いただき、執り行わせていただきました。多くのメディアの中で執り行いました。メディアにつきましては、資料にある媒体にご来場いただきましたことをご報告させていただきます。

11月4日、有観客開催を迎える前にプレスデイとして、ゲスト招致によるP I S T 6 の拡散を目的に、メディア、インフルエンサー、関連取引先企業、スポンサー、千葉市議会、自治会、施行者等をお招きして、P I S T 6 の開催をさせていただきました。当日はバンクウォークも実施し、数多くの方にご来場いただき、ご満足いただけたのではないかと考えております。

続きまして開催の様態です。先ほどエンターテイメントを実施させていただいていると申し上げましたが、部分的にご説明用に写真と共に掲載しております。オープニング(パース)は光とダンスと火によりお客様にエンターテインメントとしてみていただき、MCが挨拶。レース開始にあたってはP I S T 6 ダンサーズのダンス、選手入場、スタート位置にたって走っていく流れとなります。最後には、決勝の表彰式を、演出を含めて実施させていただいている様子となります。

続きまして、実施計画ではご説明しておりませんでした、プラスアルファの実施内容となります。

まずはバンクウォークです。こちらは、ご観戦いただくお客様向けに、開場前に50名限定でバンクを歩いていただくというバンクウォーク体験を実施させていただいております。

次に公園の広告です。千葉都市モノレール千葉公園駅から TIPSTARDOME までの公園内園路に置き看板とのぼりを設置いたしました。ご来場されるお客様の道案内として活用させていただいております。

次に、先ほどの件とかぶりますが、既存で千葉公園内に設置されている千葉公園マップに従前の千葉競輪場という名称で表記されておりましたので、13か所

TIPSTARDOMCHIBA と表記の変更を行っております

プレゼントタイムにつきましては、先ほどファンシューティングとして触れさせていただいておりましたが、お客様満足企画としてP I S T 6 オリジナルグッズ (選手サイン入り) をもらえるファンシューティングを実施させていただいております。ビジョンのP I S T 6 ロゴフレームでお客様の顔をとらえたらプレゼントをもらえるということで、ゲットするにあたっては、開催日程も記載されているクラッパーをより大きく振った方にプレゼントする仕組みになっております。P I S T 6 ダンサーズがプレゼントをお渡しさせていただいております。デイレースでは2レース終了後、ナイトレースでは8レース終了後の1日2回実施させていただいております。ファンシューティングでは定期的にアンバサダー (タレント) による盛り上げもいれさせていただいており、お客様の満足度向上とともに、アンバサダーにつきましては、表彰式のプレゼンターを務めていただいております。

続きまして、施設の貸出についてです。

まずは成人式です。令和3年10月31日に千葉市主催で成人式の会場としてお貸しさせていただきました。千葉市政100周年記念令和3年もうひとつの成人式と称しコロナウィルスによる緊急事態宣言が発令し、成人式が取りやめとなった約1,000名の方々の成人式の会場として、施設をお貸しさせていただきました。

次に、2021年度全日本学生トラックシリーズ第4戦について、令和4年2月23日水曜日に貸出を行っております。主催は日本学生自転車連盟、千葉市も後援ということでご協力いただき、貸出をさせていただきました。本大会は、本連盟大会参加基準を満たす機会を提供し、本連盟に登録した選手によるポイントレース各ラウンド優勝者を決め、学生競技者の競技力向上を目的としており、その会場としてお貸しさせていただいております。実施レースの写真についても掲載しております。

続きまして、売上等実施についてとなります。こちらについては、鈴木からご説明させていただきます。

■株式会社JPF 鈴木常務

資料にも書かせていただいておりますが、当初予想よりも最初の開催は上回ったものの、その他の開催につきましては、大きく当初の予測を下回っているものとなります。こちらにつきましては、当初、1社のサイトで発売することによってマーケティングプロモーションを集中することにより売上の最大化を図っていたところですが、その施策がうまくまわらなかったというところに起因しております。

この後、次年度計画でもまたご説明をさせていただきますが、入場者及び売上について、大きく、次年度に向けてテコ入れが必要となってくるようになっております。

先ほど、入場者が想定よりも少ない情報をご報告させていただいておりましたが、入場者のアンケートを取らせていただいております。来ていただいたお客様につきましては、概ね満足

していただいているお客様が多く、来ていただければ満足はいただけているという状況でございます。現状、周辺住民を含めて、遥かに認知が及んでいないという状況でございますので、そういった点を次年度に向けて直していければと思っております。以上で売上入場のご報告とさせていただきます。

■鈴木委員長

ありがとうございました。ただいまJPFからご説明がございました。

続きまして、千葉市から包括委託開催運営の実施状況等について、確認結果を説明していただきたいと思えます。

■公営事業事務所 鴻崎所長

開催運営の実施状況等について、千葉市としての確認結果を報告いたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催スタートが5月から10月となるなど、日程の変更がありました。

また、業界の新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインにより、開催従事者はもとより、参加選手やお客様にいたるまでの感染防止対策を講じるなど、委託事業者からの開催業務実施計画以外の事象について、その都度、市及び競技実施法人、包括運営委託事業者等協議を重ね、開催運営を行ってまいりました。

その上で、受託事業者からの実施計画に基づき適正に業務遂行を行っているか、開催毎に確認検証を行い、良好な運営をしていたと評価しております。

■鈴木委員長

ありがとうございました。以上で議題（1）令和3年度包括委託の進捗状況モニタリングについてご説明をしていただきました。委員の皆様にはご質問、ご意見をお願いしたいと思えますが、まずはご質問からお願いできればと思えます。

■高岡委員

売上実績について先ほどもご説明があったように、当初の目標の数値からかなり下回ったということですが、要因の説明について、販売サイトを1社に絞ったという部分をもう少し詳しくお聞きしたい。また、入場者数の数値について、少ないという結果になったが、その要因の分析を教えてください。

■株式会社JPF 鈴木常務

まずは売上についてでございますが、ひとつのサイトに絞ってございまして、今までの競輪のお客様というよりは、新しいお客様を獲得しようということで、ミクシィ社で作られたTIPSTARというサイトを活用しております。新規のお客様を獲得していくという方針が我々の想いと合致しておりましたので、今までの競輪のお客様の売上といったところを確

保するのではなく、新規の新しい層を獲得するために、広告費用を投下して、新たな売り上げを作っていこうというところを一番の目的にしております。

開幕当初にテレビCM、ポイントバックをさせていただいて、最初の開催については、数字上は売上を確保することが出来ましたが、継続した場合、費用対効果が合わないという状況が見えてきましたので、そのテコ入れが必要ということで、年度内で調整をしながらやってきました。その中でマーケティング施策がうまくまわせていなかったため、売上が低下し、求めている新規のお客様を多く獲得できず、こういった売上になったという状況でございます。

入場者につきまして、先ほど邊田からご説明がありましたとおり、演出、飲食等内部の作りこみに時間を割いており、ご来場いただいたお客様の評価が高いという状況ではございますが、施設等作りこんだものをこんなに良いものですよということを外に広める部分について、詰まっておらず、後手にまわってしまい、先ほどの千葉駅看板設置が年明け前後になってしまったりと、周囲への周知が遅れてしまったということが大きな原因と考えており、それにより入場者数が伸びていないと理解しております。

■高岡委員

この後の令和4年度実施計画でもご説明されるのかもしれないが、今後に向けて入場者増加のための改善計画はあるのでしょうか。

■株式会社JPF 鈴木常務

次年度に向けてご説明させていただく予定ではありますが、まだまだはじまったばかりで、やれていないことがたくさんあるという状況であるという認識でございますので、次年度に向けて、広告等による周知を強化していく予定でございます。

■高岡委員

車券の販売に関して、ひとつのサイトにしばっていくという方針は今後も変わらないのでしょうか。

■株式会社JPF 鈴木常務

やはり売上が向上しないと事業自体も、ということもございますので、当然売上設定の期間を絞って1社でその期間どの程度の売上であれば次はどのような手を打つというところは計画をたてて、千葉市と協議しながら、なかなかやりたいと言ってすぐに切り替わるものではない点もございますので、千葉市と協議しながらできればと思っております。

■高岡委員

ありがとうございます。

■鈴木委員長

委員の方で他にご質問等がありますでしょうか。

■藤本委員

今の売上に関してなんですが、一度来られたリピーターの方への売上、再入場された方について把握していますでしょうか。

■株式会社 J P F 鈴木常務

いらっしゃった方の3～4割が再入場していただけており、同じように、来ていただいた人数の3割程度が、今まで競輪をやっておらず、その場で初めて車券購入していただいております。

次年度の部分でご説明するつもりでございましたが、初めて来て見ていただいた方の購入金額の単価が、来ていないで購入している方の3倍程度増える傾向があり、その方が、次開催に来ていない場合でも、同様の金額で高止まりするという状況です。やはりお客様は新しいものという認識でおりますので、来ていただいて、見ていただかないと、何のものかわからないと思われている方が多く、来ていただいて、見ていただくと、わかっていただけて、買ったなら、なおおもしろいね、というところにつながっていくということがわかりましたので、次年度に向けて分母を広げていって、まずは一回見て楽しんでいただいて、ネットでまた買ってもらえる流れをつくれればと考えております。

■藤本委員

昼夜2部制ということですが、どちらのほうが入場者が多いですか。

■株式会社 J P F 鈴木常務

基本的に土日で実施しております、土曜日は夜のほうが多く、日曜日は昼のほうが多いです。ただ、大きいといいますか、我々としても目玉として開催して良い選手が集まったときは、日曜日の夜が決勝なので、そこが集まったりという傾向があります。

■山本委員

ティップスターのサイトから買える車券はイコール P I S T 6 ではないわけですよね。

■株式会社 J P F 鈴木常務

P I S T 6、競輪、オートレースの発売をしております。

■山本委員

テレビCMというのは、P I S T 6 のCMなんですか。

■株式会社 J P F 鈴木常務

土日のCMに限って、ティップスターのCMをやって、最後に土日は P I S T 6 を買おうというのを差し込んでいるようなCMです。

■山本委員

今のドーム自体の名前が TIPSTARDOME なんですよ。千葉競輪場でしたと、それが J P F ドームと工事期間中はなって、どのタイミングで TIPSTARDOME になって、運営しているサービスの名前が競輪じゃなくて P I S T 6 になっていたりアイコンがすごく多いので、わからないんじゃないかと個人的には思っています。

P I S T 6 自体の認知度、P I S T 6 も新しいし、TIPSTAR のアプリも新しい中でそのあたりはどのように分析しているのでしょうか。

■株式会社 J P F 鈴木常務

まさにおっしゃるとおりでして、TIPSTAR を推したいのか P I S T 6 を推したいのかと
なっております、この後の次年度に向けてというところでご説明させていただくんです
が、推していくべきは新しい P I S T 6 というところだと思っております。

今後、TIPSTAR を6月に向けてリニューアルしているところですが、そこでは、P I S
T 6 を全面に押し出して、P I S T 6 をやろうというものに変えていくこととなります。

おっしゃるとおり、P I S T 6、TIPSTAR 等ごちゃっとしてしまったので、千葉市で実
施する250競走をP I S T 6 と呼んでおりますので、P I S T 6 にみんなで来ようとい
うようなコミュニケーションに次年度は徹底してやっていければと思っております。

■鈴木委員長

他になにかありますでしょうか。ないようでしたら1点だけ、まだまだこれから継続して
いくと思いますが、2日の開催、前検日含めて3日間ということは4日間他のことにも使える
と思いますが、先ほど、成人式あるいは学生の自転車競技の大会ということがありました
が、お金も儲けていかないと、非常に施設にお金がかかっていると思うのですが、なにか計
画があるのでしょうか。

■株式会社 J P F 鈴木常務

来季に向けては千葉テレビと協力してライブをやってみようというお話があったりだ
と、自転車競技の貸出が多く、学連がやっている国際大会があるのですが、その実施であ
ったり、定期的に行っている記録会への貸出が決まっております。また、旧千葉競輪場でも実
施していたのですが、6大学戦というものの実施も調整しているところです。

自転車競技関連が続きますが、あとは、アカデミーという自転車競技を教えるスクールを
常時平日開催というところを考えております。

まだ千葉市にもご報告できていない検討段階なんです、3 x 3 というバスケットの大会
についてお声かけいただいておりますので、基本的には実施の方向で検討しています。

■鈴木委員長

個人的な意見ですが、屋内の大きな建物なので、e-スポーツだとかそういったところもう
まく誘致できると。現状、まだ日本では聖地化しているところがないので、e-スポーツの聖
地としてなったりするのも良いかなと。今まではアクション系のe-スポーツが多いですが、
自転車系のe-スポーツとかうまく競技ができたりしたら良いのかなとか、いろいろ考えら
れるのですが、本業のほうもたくさんやらいといけないことがあるので、頑張っただけ
ればなと思っております。

■株式会社 J P F 鈴木常務

まさにおっしゃるとおり、e-スポーツのズイフトという自転車の大会のお声かけをいた

いております。ただ、海外で行う関係で、夜中に貸してほしいということなので、時間調整、日程調整を行っているところです。

■藤本委員

入場者の対象をかなり絞っているのかなというところがあり、私も実際見せていただいて、大変すばらしいと思ったため、他の知人にすばらしいとは話すのですが、入場方法が難しい、当日は入場できないのか等という否定的な意見もあり、スマホ等機械の操作ができる人たちを対象としている印象を受ける。見たい方は多くいるため、対象を広げられるよう、入場券の買い方のセミナーを開く等、もう少し気軽に楽しめるようになれば良いのになという印象を受けます。

■株式会社JPF 鈴木常務

ありがとうございます。サイトの使い方がわからない、チケット購入の決済がクレジットカードしか使えなかったりするが、カードの認証が通らない等のご意見をいただくことがよくある。決済を広げ、コンビニ払い、ペイペイ等で購入できるようにするところから、来ていただいてどうやってチケット取るんですかという方のための窓口等含め、よりわかりやすいよう、間口を広げるといいですか、といったところを検討しているところです。

■鈴木委員長

入場者の方を増やすために無料の入場券を学校、企業に配る等の試みはされているのでしょうか。

■株式会社JPF 鈴木常務

千葉市のご協力をいただき、学校、近隣住民への招待等をようやくやり始めたところですので、結果が出始めるのはこの後かなというところではありますが、今そういったところにも手を付けさせていただいております。

■鈴木委員長

話は変わりますが、競輪の実施法人、一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会が新たに設立され、業務を実施しているかと思いますが、なにか困ったこと、あるいは違ったところ等はありませんでしょうか。

■公営事業事務所 鴻崎所長

競技実施法人に関しましては、競技実施法人自体が自転車競技の審判をやられていた方が多く、また、雇用されている方が元選手の方だったり、開催に関してトラブルは今のところありません。実際の競輪と違うのが、現行ではスタートに発走機を使用するのに対し、250競走に関しては、手で押さえた発走方法となっており、当初は我々も懸念をしていましたが、スタートに起因する落車は今のところ起きておりません。テストラン等もやったうえで本番に入っておりますので、特にトラブルもなくやられている状況です。

■鈴木委員長

他にご意見等ございますでしょうか。ないようでしたら、今出たようなご意見を意見として千葉市に対する意見としてまとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、議題（１）につきましては、審議は以上とさせていただきます。

一旦事務局にお返ししたいと思います。

■事務局職員

ありがとうございます。

続きまして議題（２）につきましては非公開となっておりますが、傍聴人がおりませんので、引き続き審議をお願いいたします。

《非公開議題》

■鈴木委員長

これで、本日予定しておりました議題につきましては、すべて終了となります。皆様にご協力いただき、審議を滞りなく進行できましたことを、お礼申し上げます。以上を持ちまして、令和３度第２回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会を閉会いたします。